

「弾道ミサイル」に関する調査結果(概要)

■概要

○調査目的

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合、Jアラートを通じて緊急情報が流れた際の避難行動等について実態を把握し、効果的な広報活動を実施するための参考とする。

○調査対象

- ・大阪府在住の18～90歳までの男女
- ・5区分（18歳から29歳、30代、40代、50代、60代以上）の男女各100サンプルで計1,000サンプル

○実施期間

令和6年9月4日から9月5日

○調査内容

- ・Jアラートに対する認知度
- ・Jアラートを通じて緊急情報が流れた際の避難行動に対する認知度
- ・Jアラートや避難行動に関する情報を知った媒体
- ・エリアメール・緊急速報メールの設定状況

■留意事項

○当アンケート調査は「おおさかQネット」を使用している。

○「おおさかQネット」の回答者は、民間調査会社のインターネットユーザーであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。

そのため、アンケート調査の「単純集計表」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。

○割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

○図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

○クロス集計表中の上段の数値は人数(n)、下段の数値は割合(%)を示す。

○府内市町村の区分は次のとおり。

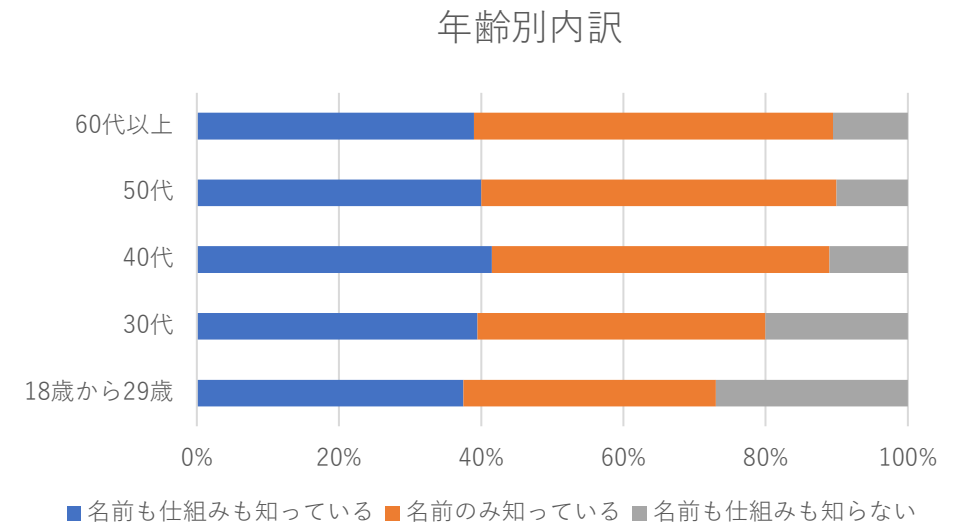
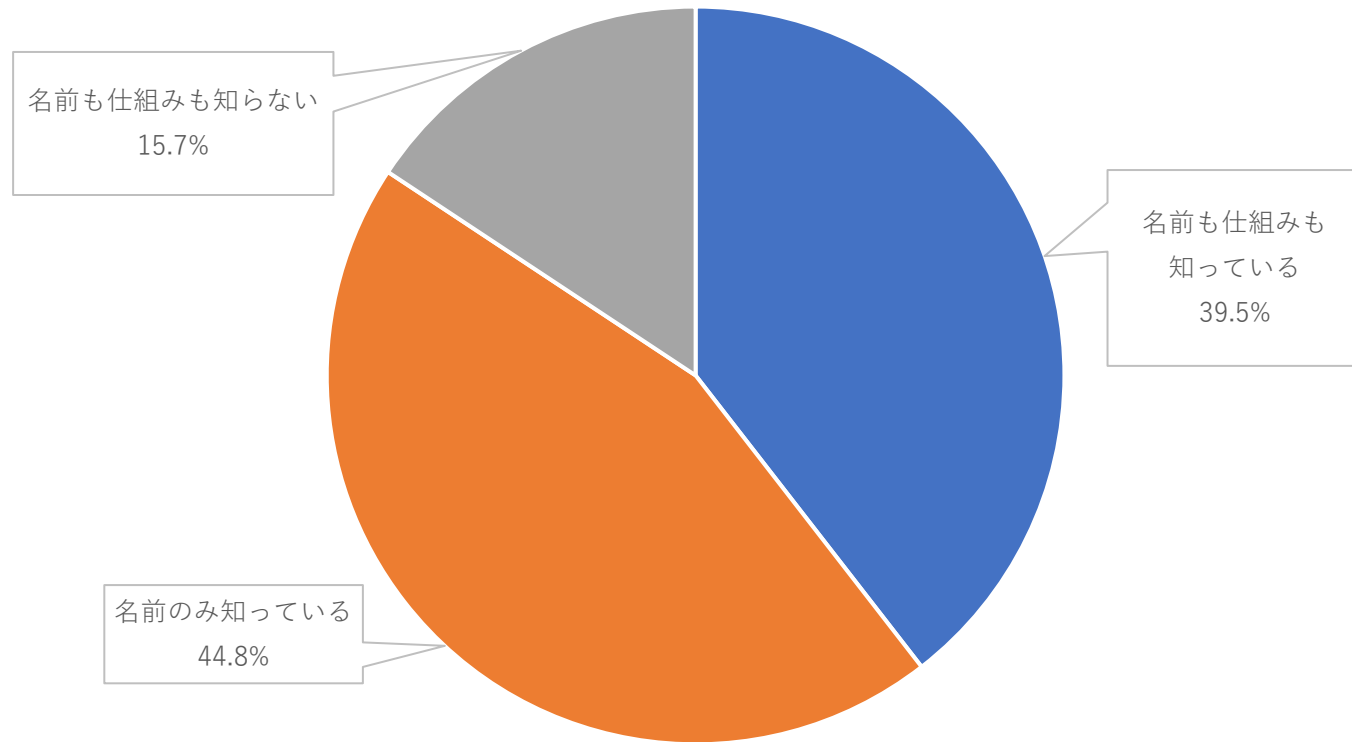
大阪市域：大阪市

北部大阪地域：豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

東部大阪地域：守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、
交野市

南部大阪地域：堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、
羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、
岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

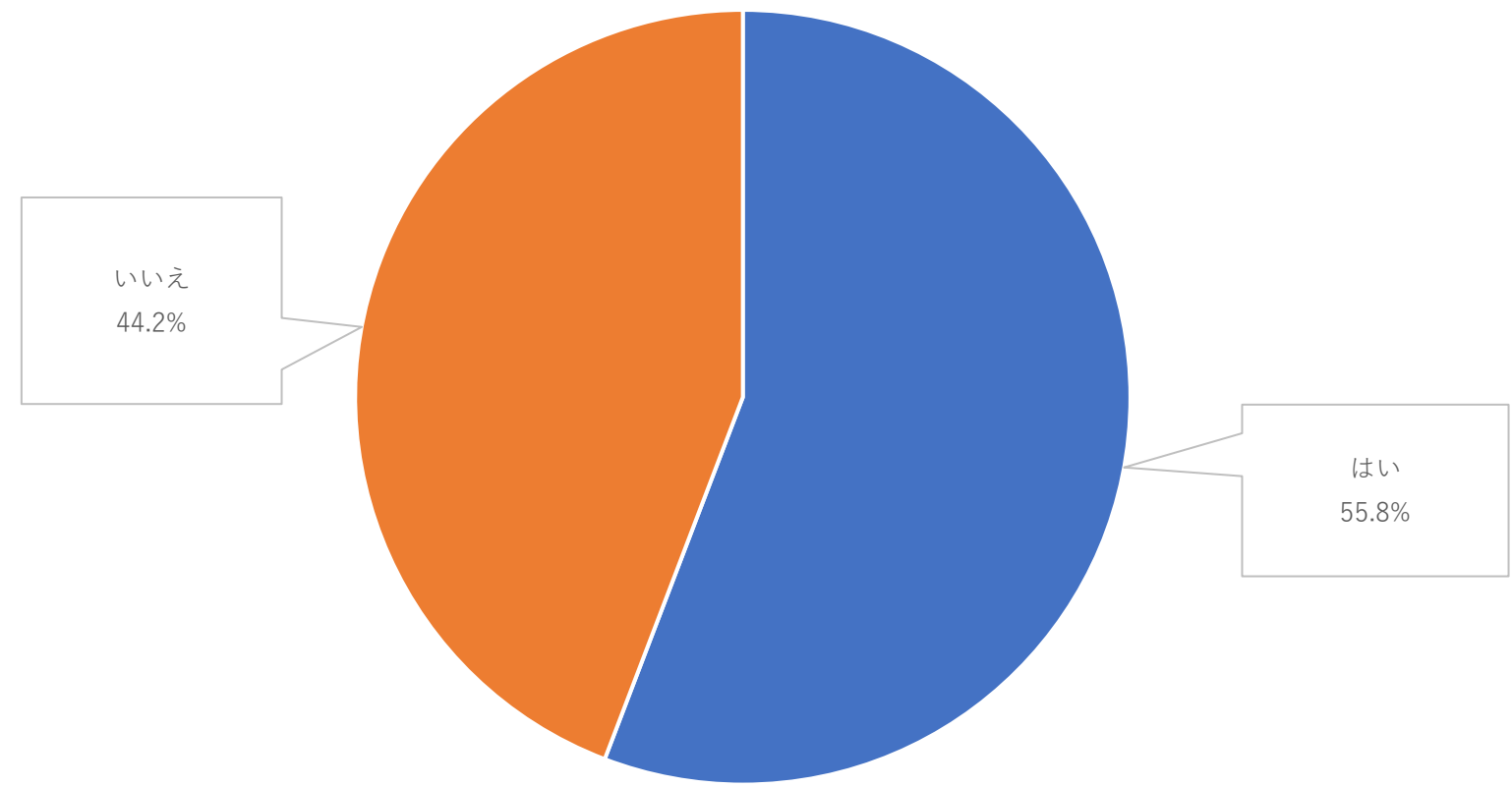
「Jアラート（「全国瞬時警報システム」の通称）」について知っていますか。



- Jアラートの「名前も仕組みも知っている」「名前のみ知っている」と回答した割合をあわせて約8割である。
- 40歳未満と比較して40歳以上ではJアラートについて知っている割合が高い。

【Jアラートの名前も仕組みも知らない人は回答対象外】

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合にJアラートを通じて緊急情報が流れた際、とるべき行動を一つでも知っていますか。

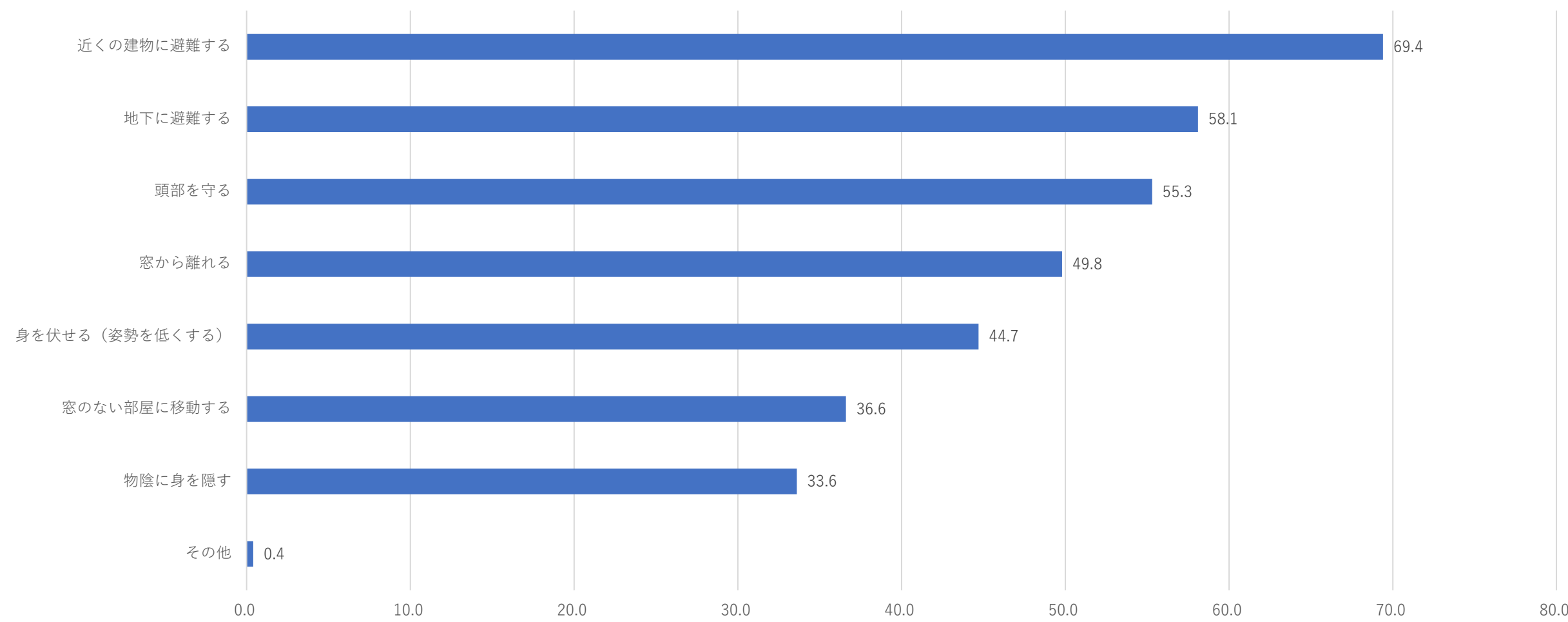


■ とるべき行動を知っている人は約6割（全体の約5割）である。

※ Jアラートの「名前も仕組みも知っている」「名前のみ知っている」と回答した人数に占める割合が約6割

【Jアラートの名前も仕組みも知らない人は回答対象外】

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合にJアラートを通じて緊急情報が流れた際、とるべき行動で知っているものを全て選択してください。

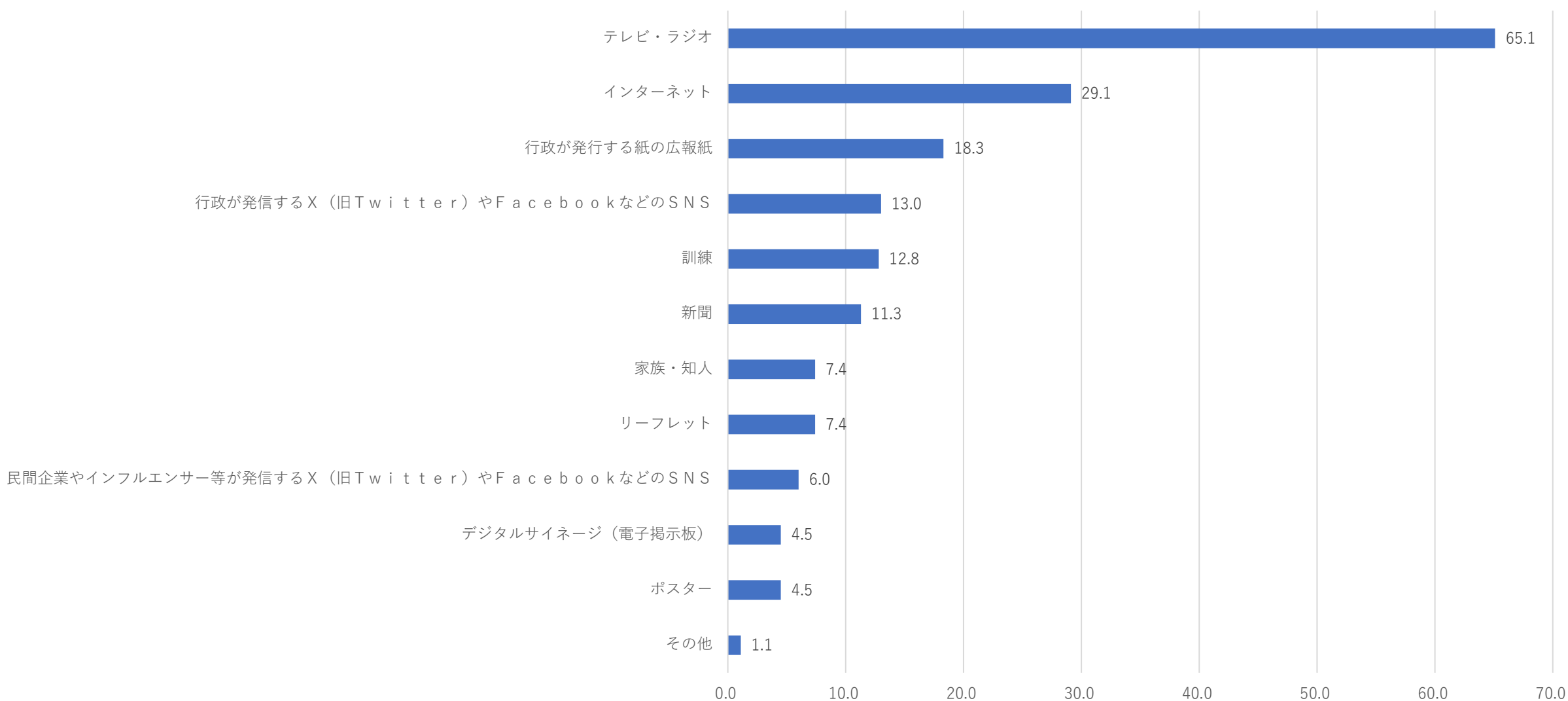


■ 避難行動について「近くの建物に避難する」を知っている人が約7割と最も多い。
■ 一方、「身を伏せる」「窓のない部屋に移動する」「物陰に身を隠す」を知っている人は5割未満である。

※ Jアラートの「名前も仕組みも知っている」「名前のみ知っている」と回答した人数に占める割合

【Jアラートの名前も仕組みも知らない人は回答対象外】

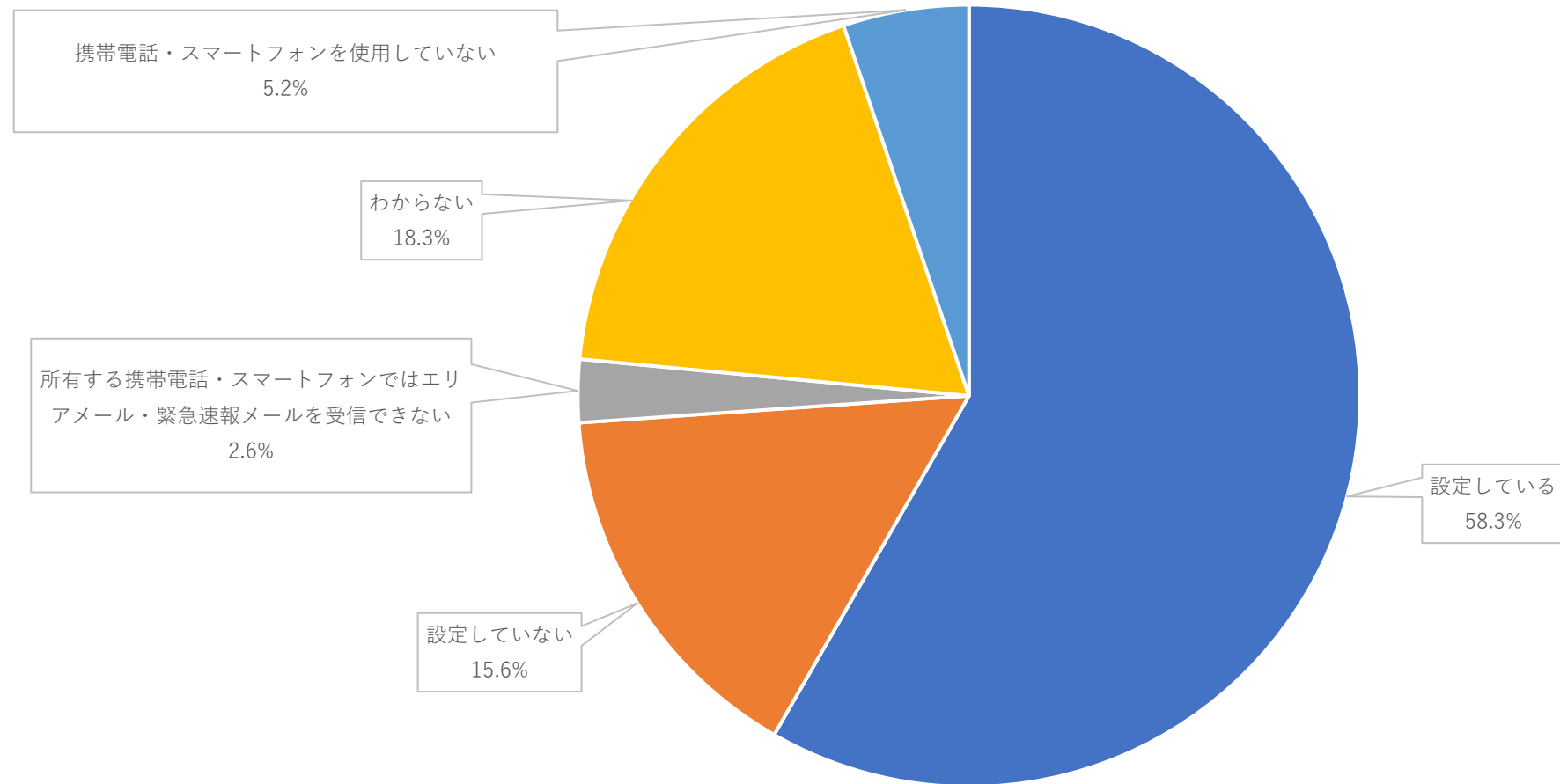
Jアラートや弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の避難行動に関する情報を何から知りましたか。
あてはまるものを全て選択してください。



■ 「テレビ・ラジオ」が約7割と最も多く、次いで「インターネット」が約3割、「行政が発行する紙の広報紙」が約2割と続いている。

※ Jアラートの「名前も仕組みも知っている」「名前のみ知っている」と回答した人数に占める割合

お持ちの携帯電話・スマートフォンは、日頃からエリアメール・緊急速報メールを受信する設定にしていますか。



■ 「設定している」と回答した割合は約6割であり、「わからない」「設定していない」がそれぞれ約2割いる。